

6月議会
定例

チャレンジデー 2019

6年連続金メダル獲得

6月議会定例会が6月11日から4日間にわたり開催され、上程された14案件について原案どおり可決されました。



行政報告

◆自然環境功労者環境大臣表彰

今年度「みどりの日」自然環境功労者環境大臣表彰に、本町から、秋田白神ガイド協会会長の齋藤栄作氏が県内で唯一、受賞されましたので報告します。

齋藤氏は平成6年から23年まで秋田県自然保護指導員を務められ、また平成10年に開設された「白神山世界遺産センター」藤里館の自然アドバイザーとして20年近くにわたり活躍されるなど、白神山

地の環境保全や普及啓蒙活動にご尽力されました。
齋藤氏の受賞に対しまして、心からの敬意を表すると共に、お祝いを申し上げます。

◆農林業関係について

今年の稲作は、春先から天気が安定し好天に恵まれたことから、育苗管理により葉先焼けの障害が出たのが一部あったものの、田植え作業は、平年並みに5月15日以降から本格的に進み、生育は良好となっております。

今後は適切な水管理による茎数の確保が図れるよう、関係機関と連携しながら、稲作の情報提供に努めていきます。

昨年から主食用米の生産数量は、その目安を提示していますが、町全体の目安2,287t、418.9haと目安を超過していますが、現在JAあきた白神では、実需との出荷契約数量に対して2,100俵不足している状態であり、その一部に町の超過分をあてて目安を達成する予定となっております。

林業関係では、平成27年度より実施しています「木の駅事業」であります。

今年度は、4月1日より木の受け入れを開始しています。出荷登録者は、昨年度と変わらず19名となっております。今後、事業の周知に努めていきます。

例年、この時期は山菜・タケノコ採りの方がクマに遭う事故が発生していますが、秋田県では、県内のクマの目撃情報一覧図やクマ被害防止方法を周知しています。町内では、5月上旬から数件目撃されており、目撃情報の収集や、広報活動により町民に警戒を呼びかけていきます。

さて、かねてより国に創設を要望していましたが、去る3月27日に法律が可決・公布されました。これを受けて、本定例会に関係条例制定案を上程しているところです。また、関連する歳入・歳出予算を計上しています。

◆国民健康保険税の税率

「持続可能な医療保険制度を構築するための国民健康保険法等の一部を改正する法律」が平成27年に成立したことにより、昨年度から都道府県が保険者となるなど、市町村とともに安定的な国保財政運営や効率的な事業の確保等、国保制度の安定化を目指し早1年が経過しました。当町の平成30年度国保会計決算におい

ては、基金からの補填はせずとも実質収支額で63,328千円の黒字となりました。

このことから、今年度県への国保事業費納付金につきましては、税率を据え置きとしても、国保運営は可能と判断し、先の「藤里町の国民健康保険事業の運営に関する協議会」においてその旨説明し、承認されたものです。

しかしながら、依然として、医療の高度化や高齢化などに伴う医療費の増加により、今後さらに国保財政が逼迫していくことが想定されますことから、集団健診の推進と医療分析や重症化予防指導などの保健事業に重点を置き、引き続き被保険者の健康増進に取り組んでいきたいと考えています。

◆チャレンジデー2019

今年も、地域住民の健康づくり、まちづくりを目的に、5月の最終水曜日である、29日に「チャレンジデー2019」が全国一斉に開催されました。

当町も、平成26年度の初参加以来、6年連続で参加しました。「一致団結して参加率昨年の86.5%以上、金メダル」を目標に、当日は多くの町民が、早朝からラジオ体操やゴミ拾いウォーキング、各種スポーツなど、それぞれ思い思いの趣向を凝らしながら楽しく参加してくださいました。

結果は、全町で2,896人が参加し、参加率は当町の過去最高記録を更新する88.4%で目標を達成、対戦相手の新潟県関川村の43.6%を大きく上回って勝利し、6年連続で金メダルを獲得することができました。各種団体をはじめ、企業の協力と児童生徒の頑張り、また、婦